

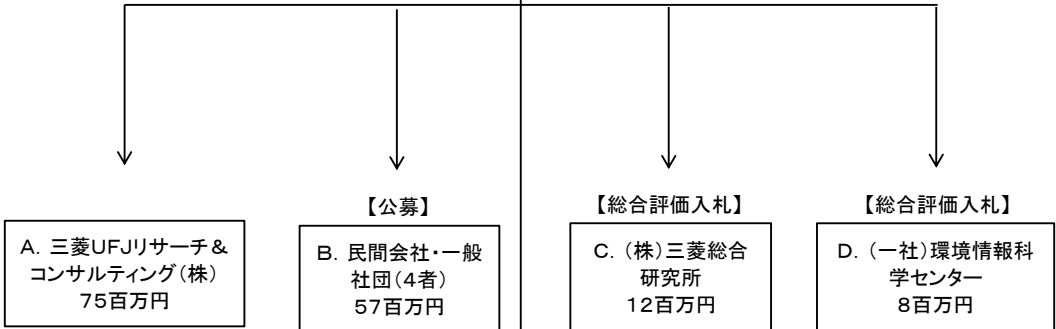
平成24年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	循環型社会づくりビジネス支援事業		担当部局	大臣官房廃棄物・リサイクル対策部		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成19年度～		担当課室	企画課リサイクル推進室		室長 森下 哲		
会計区分	一般会計		施策名	4-2 各種リサイクル法の円滑な施行によるリサイクル等の推進				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	循環型社会形成推進基本法		関係する計 画、通知等	循環型社会形成推進基本計画				
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	個別リサイクル法の制定等により我が国の循環利用量は着実に増加してきたが、循環利用がなされないまま焼却・埋立処分されたり、海外に流出している未利用循環資源が、依然として多く存在している。これらの資源を国内で有効利用することができれば、循環型社会の構築に大きく寄与するものと期待される。未利用循環資源を今後一層活用していくためには、社会全体の負担軽減の観点からも、法制度を導入して特定の循環利用を推進するという従来のアプローチに加え、現行制度下でも民間ビジネスとして成立し得る様々な循環利用の導入普及を支援していく必要がある。							
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	民間事業者単独の取組では、必要とする循環資源を回収・再利用するシステムを組むことが困難であったり、経済性や技術面での市場ニーズの検証が十分できないなどの理由で、事業化に至らない循環利用について、その事業化に向けた実証支援を行うことにより、新たな循環ビジネスの確立と、国内の他の事業者への普及を通じた循環ビジネス全体の底上げを図る。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予 算 の 状 況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
		当初予算	143	220	180	107	46	
		補正予算	0	0	0	0		
		繰越し等	0	0	0	0		
	計	143	220	180	107	46		
	執行額	174	207	156				
執行率 (%)	122	94	87					
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (27年度)
	循環型社会ビジネス市場の規模		成果実績					
			達成度	%				
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	支援事業実施数		活動実績 (当初見込み)	件	11	12 (12)	17 (16)	— (4)
			算出根拠	執行額/支援事業実施数				
単位当たり コスト	9 (百万円/件)							
平成 24 ・ 25 年度 予算 内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	職員旅費	0.2	0	他事業との整理統合及び事業内容等の見直し				
	環境保全調査費	107	46					
計	107	46						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	民間事業者単独の取組では事業化に至らない循環利用について、循環ビジネス全体の底上げを図るために、その事業化に向けた実証支援を行うものであり、国において実施する必要がある。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	競争入札等により、競争性を確保している。また、随時に業務の進捗状況を把握し、必要に応じて指示を行った。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	—	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	民間事業者単独の取組では事業化に至らない循環利用について実証支援を行うものであり、その結果、事業化が進み、循環ビジネス全体の底上げが図られる。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	平成22年レビューの結果を踏まえて、平成23年度において複数事業を整理統合したものであり、民間事業者単独の取組では事業化に至らない循環利用について、循環ビジネス全体の底上げを図るために、その事業化に向けた実証支援を行うものである。引き続き、事業を重点化しつつ、競争性のある契約方式で支出先を選定するとともに、進捗状況を的確に把握することにより、効率的な実施に努める。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	事業内容を精査し、重点化することなどにより、予算額を節減すべき。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減	本事業の一部(使用済製品等のリユースビジネス推進事業)と「適正な資源循環を支える消費を通じた循環型のライフスタイルへの変革推進」、「分散・自立型の持続的で災害に強い地域循環圏整備推進事業」を統合し、重複部分を排除するとともに、その他部分についても人件費等を見直し、概算要求額を減額。		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	103, 105, 106	平成23年行政事業レビュー	096

※平成23年度実績を記入

環境省
156百万円

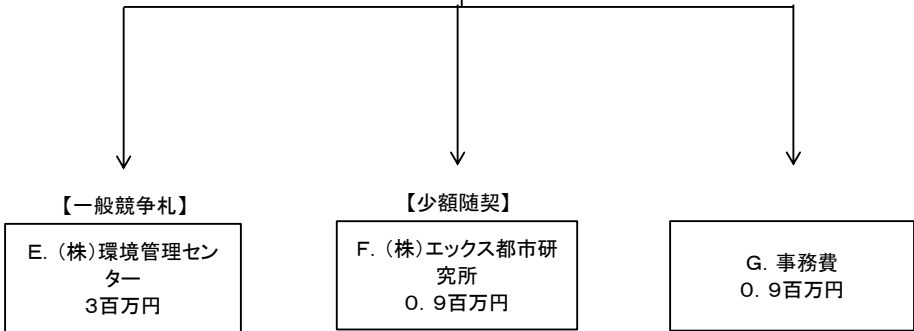


・使用済製品等のリユース促進事業【総合評価入札】
・我が国におけるびんリユースシステムの在り方に関する検討会開催【少額随意契約】

自動車リサイクル連携高度化事業

廃プラスチックリサイクルの品質向上支援事業

マイボトル・マイカップの普及促進のための啓発及び実証事業



自動車リサイクル連携高度化等支援事業
浸食確認等業務

自動車リサイクル連携高度化等支援事業
選定委員会運営業務

マイボトル・マイカップ
キャンペーン啓発媒体印刷

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)			E.(株)環境管理センター		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ回答を得ることができなかった。			本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ回答を得ることができなかった。	
計		74	計		3
B.(株)早稲田環境研究所					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ回答を得ることができなかった。				
計		25	計		
C.(株)三菱総合研究所					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ回答を得ることができなかった。				
計		12	計		
D.(一社)環境情報科学センター					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないが、国費の支出の透明性を図るため任意で提出依頼を行ったところ回答を得ることができなかった。				
計		8	計		

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)	使用済製品等のリユース促進事業	74	1	98%
2	三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)	我が国におけるびんリユースシステムの在り方に関する検討会開催	0.9	少額随意契約	—

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)早稲田環境研究所	自動車リサイクル連携高度化事業(リユース部品の在庫「見える化」システムの構築及びCO2削減効果情報提供プラットフォームを活用したインセンティブ付与に関する実証事業)	25	公募	—
2	(一社)日本ELVリサイクル機構	自動車リサイクル連携高度化事業(小規模解体業者の連携によるレアメタルリサイクルのための回収スキーム高度化事業)	12	公募	—
3	(株)マテック	自動車リサイクル連携高度化事業(使用済自動車由来バンパーのマテリアルリサイクルに係る選別技術実証事業)	11	公募	—
4	豊田通商(株)	自動車リサイクル連携高度化事業(使用済自動車由来の小型モーターくずからの銅資源回収事業)	10	公募	—

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)三菱総合研究所	廃プラスチックリサイクルの品質向上支援事業	12	1	80%

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(一社)環境情報科学センター	マイボトル・マイカップの普及促進のための啓発及び実証事業	8	4	74%

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)環境管理センター	自動車リサイクル連携高度化等支援事業進捗確認等業務	3	2	90%

F.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)エクス都市研究所	自動車リサイクル連携高度化等支援事業選定委員会運営業務	0.9	少額随意契約	—

G.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)五月商会	マイボトル・マイカップキャンペーン啓発媒体印刷	0.9	少額随意契約	—